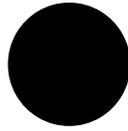


CHIHOMEN NEWS

令和4年6月●日 近畿財務局大津財務事務所

Vol.



2022. **6.25** **土**
14:00-16:00 (13:45より受付)
立命館守山中学校・高等学校
メディアホール



主催：守山市
共催：近畿財務局大津財務事務所
立命館守山中学校・高等学校、(株)平和堂
後援：滋賀県、滋賀県教育委員会
立命館起業・事業化推進室
協力：マザーレイクゴールズ推進委員会
運営：(株)COMARS、ジャパニーズ(株)
一般社団法人インパクトラボ
(株)日本政策金融公庫

企画背景

大津財務事務所ではこれまでも、自転車を軸とした観光振興「ビワイチ」や、「起業家の集まるまち守山」をビジョンとして掲げる起業支援などの各種取組を進める守山市と連携を深めてきたところです。

そのような中で、起業支援の新たな取組として琵琶湖らしい起業、サステナブルなスタートアップ創出を考える機会とする第一歩として、守山市内、滋賀県内の高校生、若手起業家を対象としたシンポジウムを共催することとなりました。

企画ポイント

- 大津財務事務所がもつネットワーク機能を活用し、守山市、高校（財政教育プログラム実施先）や県内企業と共催
- 起業家による講演のほか、起業家と学生のクロストークにより琵琶湖らしい起業、サステナブルなスタートアップ創出についてディスカッション

開会挨拶



主催者として、**守山市**の**宮本市長**から、「時代の変革期にあって挑戦していく強い気持ちが大切。起業家1000人が集まる街守山を拠点に、世界とのネットワークを作り、夢をもって挑戦し、そして平和や地球温暖化などの世界的な課題を克服しサステナブルな社会を創っていく。本日は、そうした成長につながる1日にしたい。」とのお話いただきました。

第一部 起業家講演



第一部では、『僕はミドリムシで世界を救うことに決めました。』の著者で有名な(株)ユーグレナ代表取締役社長の出雲充氏から講演を実施していただきました。

【講演の主なポイント】

- ・今の日本は、起業を人生の選択肢に入れることを教えていない。高校生、中学生に起業というチャレンジする選択肢を教え、広げていかなければいけない。
- ・成功率1%の事象は、459回挑戦したら99%成功する。成功するためには、失敗しても挑戦し続けることが大切。試行回数×科学技術がイノベーションである。
- ・一番になることにこだわりを持つべき。「貧乏」「才能」「家柄」は、必要ではない。

講師：

(株)ユーグレナ 代表取締役社長 出雲 充氏

1980年広島県生まれ。幼少期より東京都の多摩ニュータウンに移り住む。2002年東京大学農学部卒業後、東京三菱銀行(現・三菱UFJ銀行)に入行。2005年8月(株)ユーグレナを設立。同年12月、世界で初めてミドリムシ(ユーグレナ)の屋外大量培養に成功した。著書に『僕はミドリムシで世界を救うことに決めました。』。

第二部 クロストーク



第二部では、守山市の宮本市長、(株)平和堂の平松代表取締役社長執行役員、立命館守山大学の畠氏、立命館守山高校の東氏が「滋賀県のリーダーと学生・生徒が語る、若い世代が活躍するためには」をテーマにパネルディスカッションを実施しました。行政や事業者、学生、生徒それぞれの立場から様々な考えを述べられ、参加者からも多数質問が寄せられるなど、会場は大いに盛り上がりしました。



閉会挨拶



会の終わりには立命館守山中学校・高等学校の寺田佳司校長から、「自らが置かれた環境を言い訳にせず、自らの夢の実現のため何をしたらよいかを考えよう。目標を高く持ち、失敗にくじけないことが大切」とのお話がありました。

終わりに



大津財務事務所では、今後も地方創生、地域活性化のために、関係機関と連携し、様々な形で取り組んでまいります。

